

令和3年度 富田小学校の教育

1 学校経営ビジョン

人間尊重の視点を持ち、人権教育を基盤とした学習指導、生徒指導、特別支援教育を充実させます。

2 ビジョンの実現に向けた本年度の重点的な取組内容

(1)「特別支援教育」「生徒指導」の充実

ア 積極的な生徒指導の充実を図ります。

- SWPBS (School-wide Positive Behavior Support=学校全体で取り組むポジティブな行動支援) を活用し、各校務部の連携を図りながら授業や学校生活のあらゆる場面で自己肯定感、自己有用感を育てる「ほめて伸ばす教育」を推進します。
- 不登校傾向の児童に寄り添い、家庭や関係機関と情報交換を行いながら連携した取組を行います。
- メディア等が関連したいじめや差別が起きないように指導の充実に努めます。

イ 特別支援教育の観点から教育活動を見直し、改善を図ります。

- 特別支援教育(ユニバーサルデザイン)の視点から、全学級における個々の児童への支援を組織的に行い、児童の困り感を解消する取組を行います。
- 特別な支援を要する児童への支援について、特別支援教育コーディネーターを中心に教師間、関係機関との連携を充実させます。

(2)「学力の向上」

ア 児童が「分かった」「できた」ことを実感できる授業を展開します。

- 県教委提示の「授業改善4+4のチェックポイント」を確実に実践し、次時の授業改善に生かします。
- タブレット等のICT機器を活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」を意識した教師の授業改善に努めます。

イ 児童の家庭学習の充実を図ります。

- 自発的・自律的な家庭学習が進められるよう、各種学力調査の結果分析を活用しながら児童の実態に応じた段階的な手立てを講じていきます。

(3)「健康・安全教育」の充実

ア 体育の日常化と体育指導の工夫・充実を図ります。

- 体力の向上を図るために、日常的な取組を行うとともに、ICT機器(タブレット等)を活用した主体的な授業を展開するなど体育指導の充実に努めます。

イ 命の大切さを意識させる指導の充実を図る。

- 災害等発生時の「保護者引き渡しシステム」の見直しを行うとともに、保護者と連携した訓練を実施します。
- 登下校時の安全確保のための指導の充実と、帰宅後の自転車の乗り方等安全確保のための指導の徹底を図ります。

ウ 保健指導の充実と家庭との連携強化を図る。

- 衛生習慣の定着、感染予防対策等、保健指導の充実に努めます。
- 食育の充実と家庭と連携した望ましいメディア習慣の確立に努めます。

(4)「信頼される学校づくり」の推進

- 地域行事への参加や積極的に学校の情報発信を行うなど、地域に貢献し、地域から愛される学校づくりに努めます。
- 小中学校が連携した学校評価制度の効果的な運用と評価を生かした学校づくりを行います。
- 地域素材・地域人材の授業への活用と、地域でのボランティア等、協働活動の在り方を工夫します。